

## 2009年12月4日開催 日本総研「次世代の国づくり」シンポジウム 農業を核とする地域再生のビジョン はじめに

日本総合研究所は2009年12月4日、東京都千代田区の経団連会館ゴールドデンルームにおいて、「次世代の国づくり」シンポジウム「農業を核とする地域再生のビジョン」を開催致しました。当日は民間企業、地方自治体、大学など各方面から275名のご来場を頂きました。

今回のシンポジウムは、経済活動のグローバル化が進展し国内経済成長率の低下が進むなか、これまでのような国家財政を通じた所得再分配政策や、大企業の拠点誘致による地域振興モデルでは、もはや地方経済を支えることはできない、という危機意識の下に行なわれました。すなわち、今、地域には特性を活かした独自の産業育成が不可欠であり、その1つの柱として農業に注目したものであります。

第1部では、当社研究員より、マクロ、ミクロの視点から「いかにすれば農業が地域再生の核となりうるか」をテーマに、3つの問題提起を行いました。

第2部ではパネル・ディスカッションとして、現場発の農業改革を核とする地域再生のビジョンについて、豊富な実地経験をお持ちの有識者の方にご参加いただきました。パネリストの株式会社金沢大地の井村辰二郎代表、株式会社セブンファーム富里の戸井和久代表取締役社長、宮崎県綾町の前田穰町長からは、農業経営、農業ビジネスの成功要因と今後の課題、農業を通じた地域再生のあり方等についてご意見を頂戴いたしました。最後に会場から頂いたご意見を元に、質疑応答を行いました。

本シンポジウム記録には、主催者挨拶、第1部「日本総研からの3つの問題提起」および、第2部のパネルディスカッションを3つに分けて収録いたしました。

<以 上>